

長浜米原しょうがい者自立支援協議会
令和6年度第1回全体会
活動報告

I 長浜米原しょうがい者自立支援協議会の概要

1 基本理念

地域自立支援協議会（以下「協議会」と言う。）の意義は、①相談支援を中心としたしょうがい者等への支援体制の整備を図ること、②「人と人をつなぐこと」、「地域で暮らし続けられるまちを作るための仕組みを発案して実働していくこと」、③「しょうがい福祉の関係者以外の人ともつながること」があります。

協議会運営の特徴として、「要求や陳情を行う側と受け止める側」といった関係性ではなく、立場や経験や職種の違う方たちが、同じテーブルに座って、一緒に汗をかきながら考え、知恵を出し合い、動いていくということにあります。協議会に必要なことは「対立」ではなく「協働」です。「誰かがやってくれる」「〇〇がこのようにすべきだ」ではなく、「目的を達成するためにはどうすればいいのか」を協議会の構成員一人ひとりが主体的に自分の頭で考えることが必要です。自分の所属の立場に拘束されず、無責任にならず、率直な話し合いができて、なにかが変わっていく夢や希望を持てる会議体にしていく意識をもって参加することが大切です。

また、当事者が参画することで支援者同士では表出されないような課題も新しく出てくることを常に念頭におく必要があり、当事者が持つ思いこそがしょうがい者を支援する人々の最も重視すべきことであることを認識し、ともに住みやすいまちを作っていく活動が協議会の特徴になります。

現実的には多くの課題がありますが、優先順位をつけて「できることから行っていき」、「具体的な協議や取り組みを重ね、積み上げて」いきましょう。

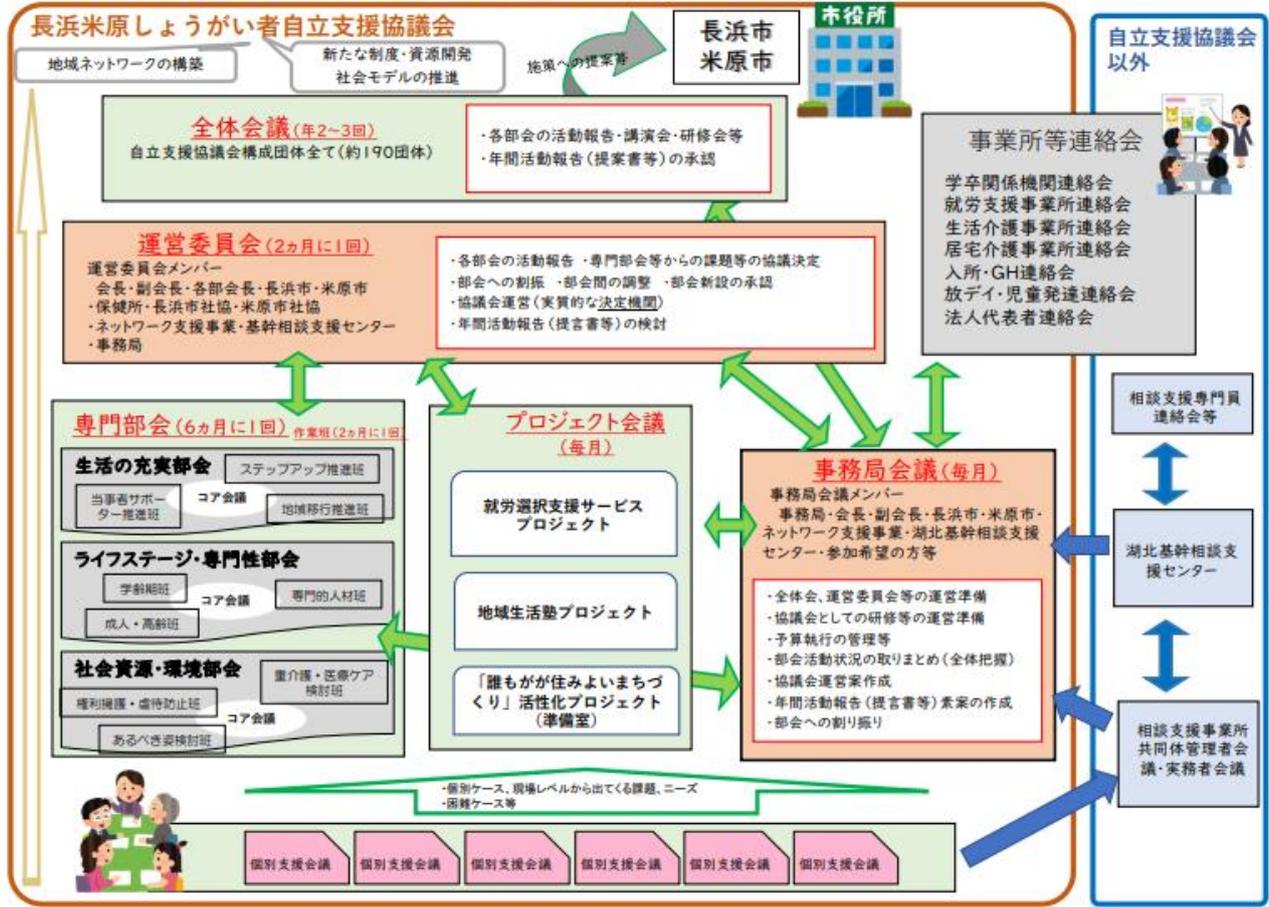
2 目的・役割

協議会は、この湖北地域に暮らしているしょうがいのある人たちが、住み慣れた環境で、また住みたい場所で、いきいきと暮らし、共に育ち学び働き続けられることを目指し、しょうがいのある人たちとその家族、及び教育医療労働福祉その他携わる関係者が一緒になり課題を整理・協議して、解決していくものとする。そして、それを達成していくために、障害者権利条約や障害者基本法をベースとした、湖北地域全体で包括するような社会モデルのシステム・施策を立案し、推進していくことを目的とする。

表1

3 組織構成図

長浜米原しょうがい者自立支援協議会体制図 令和6年4月～



生活の充実部会

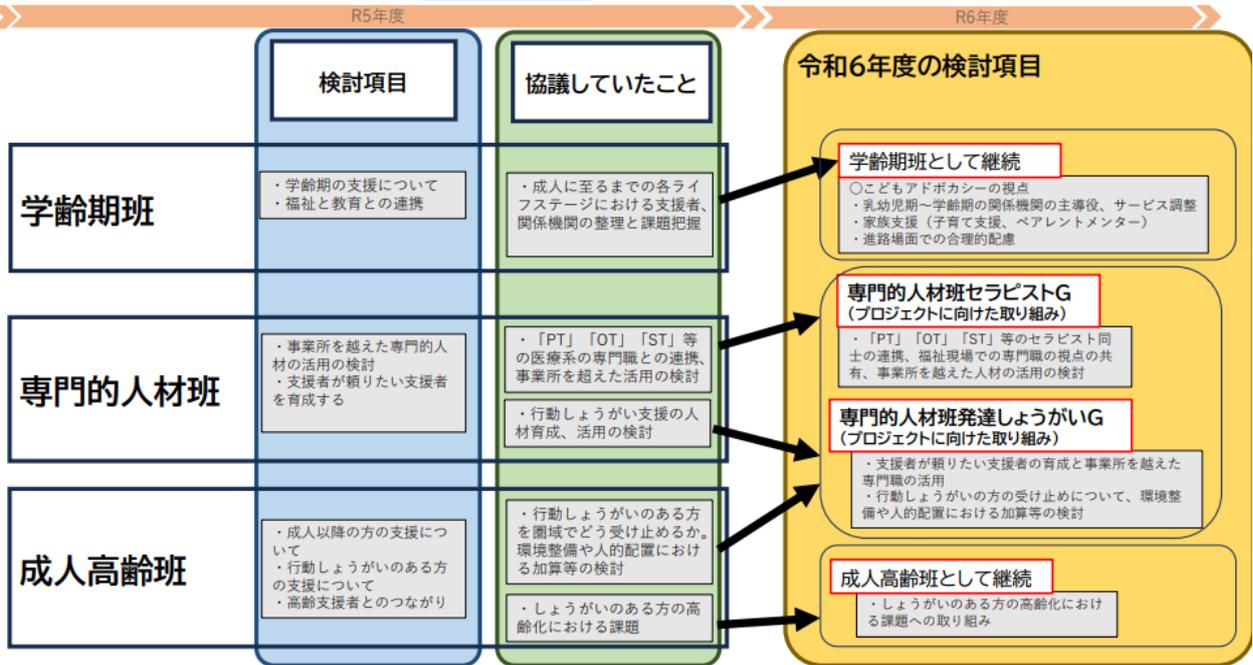
表2

	テーマ 【豊かな暮らし】	・就労・住居・地域移行・啓発 ・災害感染症・余暇・体験 ・在宅支援・権利擁護・家族の理解
	R5年度	R6年度
	検討項目	協議していたこと
ステップアップ推進班	<ul style="list-style-type: none"> ・就労B型から一般就労へ向けた課題の検討 ・就労定着支援の手引き」の周知 ・生活介護から就労B型への移行 ・働きたいところで働ける環境の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労B型から一般就労への課題の検討 ・就労支援の手引きの修正 ・就労選択支援サービスについての情報収集
当事者サポーター推進班	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での生活を継続するための経験の場作り ・当事者を支えるサポーターの育成 ・ピアカン、ペアレントメンター活躍の場 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活の選択肢を増やすための「地域生活塾」の運営、評価
地域移行推進班	<ul style="list-style-type: none"> ・入所施設、医療機関からGHやアパート等での暮らしへの移行を推進するための検討 ・状態像に合わせた支援の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の入所施設/GHの現状把握と実態調査（施設見学） ・地域移行を推進するための施策についての協議 ・湖北地域精神しょうがい者支援協議との連動
		令和6年度の検討項目
		<ul style="list-style-type: none"> ステップアップ推進班として継続 <ul style="list-style-type: none"> ・個別ケースを通じて、就労A/B型から一般就労の推進を検討 (新)就労選択支援プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・新たなサービス「就労選択支援」の圏域の枠組みの決定と運用に向けての周知啓発 (新)地域生活塾プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な「地域生活塾」運営のために必要な手立て（事業化等）の検討 当事者サポーター推進班として継続 <ul style="list-style-type: none"> ・当事者を支えるサポーター（ピアカン等）の活躍の場の設定 地域移行推進班として継続 <ul style="list-style-type: none"> ・地域移行の壁となる金銭面に対する施策の検討 ・個別ケースを通じて、圏域として地域移行を推進する取り組み

ライフステージ専門性部会

テーマ
【人・制度づくり】

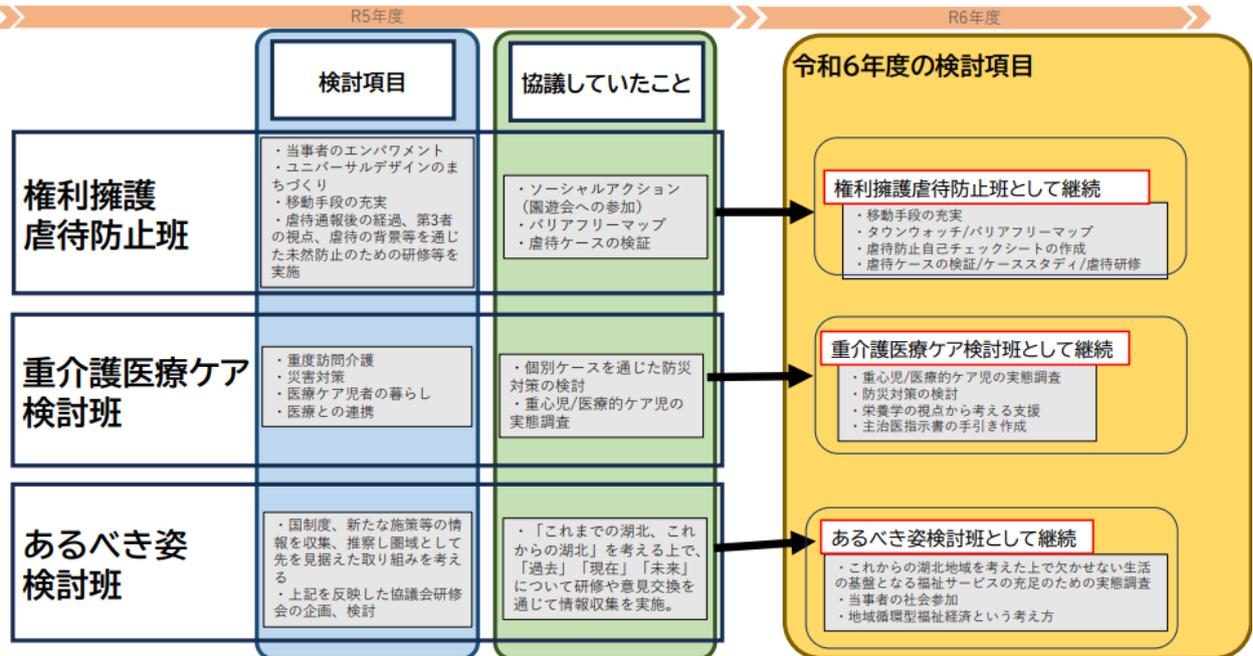
・マンパワー・専門性・教育・家族支援
・連携・しょうがい特性・福祉サービス
・制度・介護給付・委託・相談支援・事業
所の環境・支給決定・児童・成人・高齢

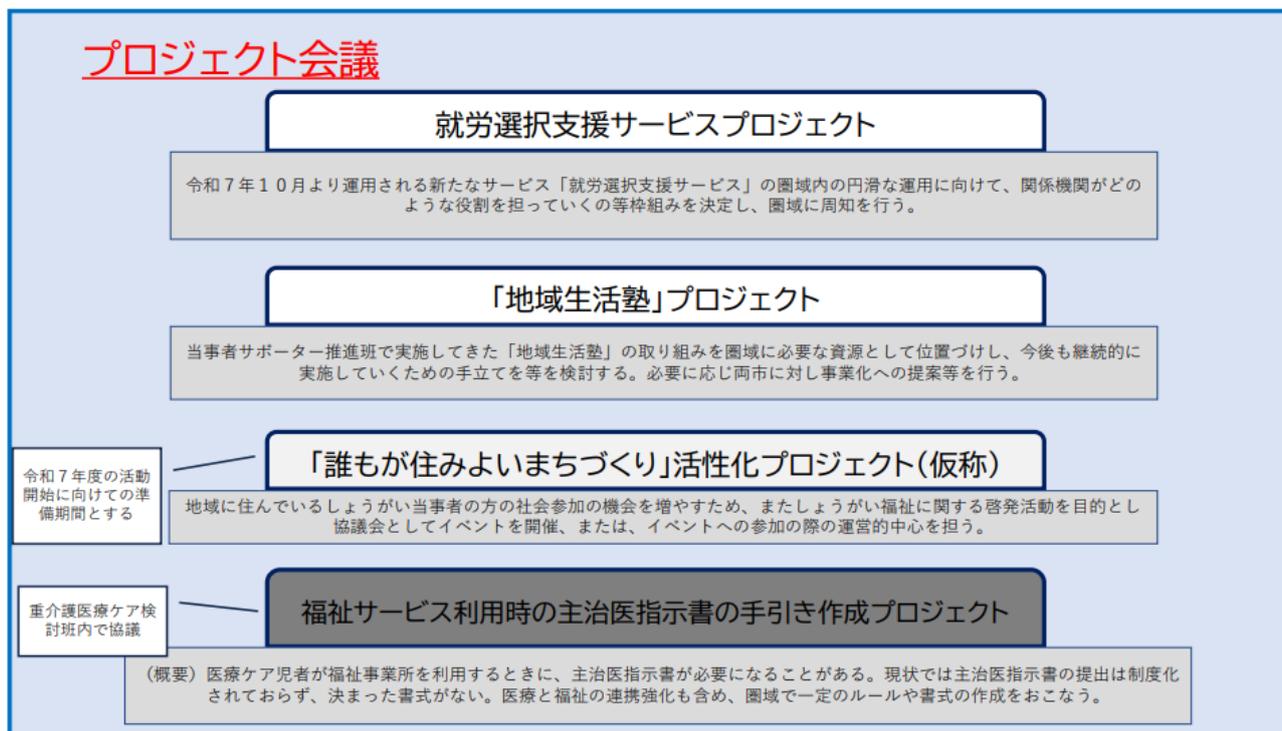


社会資源環境部会

テーマ
【まちづくり】

・就労・住居・地域移行・啓発
災害感染症・余暇・体験
・在宅支援・権利擁護・家族の理解





I 令和6年度プロジェクト会議活動報告

I 就労選択支援サービスプロジェクト会議

■目的

令和7年10月から運用が開始される新たな障害福祉サービス「就労選択支援サービス」の圏域内での適切な運用に向けての枠組みを決める。大切にすることは、様々な視点から検討し支援者が無理なく運用できるものであると同時に、当事者の方に不利益がないように、制度に振り回されないようなものを作っていくということ。今回のプロジェクトを通じて、福祉と就労、圏域を越えて連携協力が気軽にできるきっかけになることの期待を込めている。

■参画事業所等

座長：鍵弥寿彦（相談支援事業所ピットイン） 副座長：阿藤誠介（はたらき・くらし応援センターこほく）
参画：（はたらき・くらし応援センターこほく/ワークスさぼてん/スマイルカレッジ/あっぷでーと/就労ネットワーク滋賀/地域若者サポートステーション/長浜養護学校/ハローワーク長浜/ジョブリード/ハグウェル/ 相談支援事業所ピットイン/長浜市しょうがい福祉課/米原市障がい福祉課/湖北基幹相談支援センターふらっと）
オブザーバー：奥田颯太郎（滋賀県障害福祉課）

■活動実績

回	日時	場所	参加数 (人)
第1回	5月9日 15:15~16:45	長浜まちづくりセンター1C会議室	17
第2回	6月13日 15:15~17:00	長浜まちづくりセンター1C会議室	20
第3回	7月11日 15:15~17:00	長浜まちづくりセンター1C会議室	23
第4回	8月8日 15:15~17:00	長浜まちづくりセンター1C会議室	20

■主な協議・活動内容

- ・就労選択支援サービスを知るための勉強会…国が示す新たな制度の趣旨・目的等の理解、またこのサービスが意図するところの共通認識を図った。さらに昨年度滋賀県内で実施された就労選択支援モデル事業（国）の取組みからみえてきた課題等についても把握を行った。
- ・就労選択支援サービス運用に向けて、圏域として決めていかなければいけないことの洗い出し（どこにどんな枠組みが必要か）

■目標

- ・就労選択支援サービスにおける圏域の枠組みを決定し、手引き書を作成すること

2 「地域生活塾」プロジェクト会議

■目的

当事者サポーター推進班で実施してきた取り組み「地域生活塾」を圏域に必要な資源として位置づけし、今後も継続的に実施していくための手立て等を検討する。必要に応じ両市に対し事業化への提案等を行う。

■参画事業所等

座長：野寺英里香（湖北相談処すだち）

参画：（CIL だんない/障がい者相談支援センターほたる/マルチスイッチ/ふくらの森/湖北基幹相談支援センターふらっと/相談支援事業所ピットイン/長浜市しょうがい福祉課/米原市障がい福祉課）

■活動実績（定例会議）

回	日時	場所	参加数 (人)
第1回	4月24日 15:15～16:45	長浜まちづくりセンター1C会議室	8
第2回	5月22日 15:15～16:45	長浜まちづくりセンター1C会議室	8
第3回	6月26日 14:40～15:45	長浜まちづくりセンター1C会議室	6
第4回	7月24日 15:00～16:30	長浜まちづくりセンター1C会議室	8
第5回	8月28日 15:15～16:45	長浜まちづくりセンター1C会議室	7

■活動実績（定例会議以外の活動）

地域生活塾交流会

目的：「地域生活塾」卒塾生の交流会を開催し、その中で「地域生活塾」を通して得た効果等評価情報を収集

対象：卒塾生22人

回	日時	場所	卒塾生参加数 (人)	運営スタッフ (人)
第1回	6月15日 14:00～16:00	湖北まちづくりセンター	8	7
第2回	7月20日 14:00～16:00	長浜まちづくりセンター	8	8

■主な協議・活動内容

- ・「地域生活塾」を通じて得られる効果について、どのような情報を得て評価するかを協議
- ・「地域生活塾」交流会で得られた卒塾生の声を整理して視覚化し、評価情報としていく

■目標

- ・「地域生活塾」の評価、役割・プログラムの整理、運営の仕組み等について協議し、安定した運営ができるよう事業化を含めて検討し、必要に応じて行政へ提言等を行っていく

II 令和6年度専門部会活動報告

I 生活の充実部会

■目的

部会のテーマ【豊かな暮らし】を実現するために、「ステップアップ推進班」「当事者サポーター推進班」「地域移行推進班」の3つの作業班それぞれの切り口から協議をおこない、作業班の活動状況の共有と協議事項の整理などをおこなう。

■参画事業所

部会長：西山和秀（湖北タウンホーム）

世話役：鍵弥寿彦（相談支援事業所ピットイン/障害児者地域生活ネットワーク支援事業）

参画：（ステップアップ推進班/当事者サポーター推進班/地域移行推進班のメンバー）

■活動予定

回	日時	場所	参加数 (人)
第1回	10月30日 13:30~15:30	長浜まちづくりセンター1C会議室	—

※会議の開催前にコアメンバー（部会長/座長）でコア会議を実施。

(I) ステップアップ推進班

■検討テーマ

個別ケースを通じて、就労継続支援A型または就労継続支援B型から一般就労への推進

■参画事業所等

座長：神田航平（ワークスさぼてん）

参画：（ワークスさぼてん/フォーユー/障がい者相談支援センターほたる/ピットイン/あっぷでーと/スマイルカレッジ/愛光園/長浜みなみ共同作業所/はたらき・くらし応援センターこほく/障害者支援センターそら/つどい/ひかり園・輝湖里/ワークスさかた/リアファル/友愛ハウス・ワークセンター絆/ハグウェル/Link/湖北基幹相談支援センターふらっと/米原市発達支援センター/ゆるり/長浜市しょうがい福祉課/県障害福祉課）

■活動実績（定例会議）

回	日時	場所	参加数 (人)
第1回	4月18日 13:15~15:00	長浜まちづくりセンター2AB会議室	19
第2回	5月9日 13:15~15:00	長浜まちづくりセンター1C会議室	16
第3回	7月11日 13:15~15:00	長浜まちづくりセンター1C会議室	20

※すべての会議の開催前にコアメンバーで運営会議を実施

■活動実績（定例会議以外の活動）

研修会

令和7年度 10月から施行される就労選択支援サービスについての理解を深め、圏域として適切に運用されることを考える機会としてステップアップ推進班の中で開催。

日時：令和6年4月18日（木）13：15～15：00

場所：長浜まちづくりセンター2AB会議室/オンライン

内容：就労の開始・継続段階の支援における地域連携の実践に関するモデル事業の実施について

講師：滋賀県障害福祉課 奥田颯太郎氏

参加者：19人

■主な協議・活動内容

- ・事業所内で支援に行き詰っているケースや一般就労を希望するが課題が多いケース等についてピカジップ法※を用いた事例検討を行い、意見交換等を行う
- ・しょうがい者雇用の現場（企業見学）を行い、支援者が具体的なイメージがもてる機会を検討

※ピカジップ法とは…事例提供者の提出した簡単な事例資料をもとに、ファシリテーターと参加者が協力して参加者の力を最大限に引き出し、その経験と知恵から事例提供者に役立つ新しい取組みの方向性や具体的なヒントを見出していくプロセスを学ぶグループ体験のこと（村山正治・中田行重「新しい事例検討会放 PCAGIP 入門 パーソン・センタード・アプローチの視点から」抜粋）

■目標

- ・個別の事例や企業見学等を通じて、就労継続 A 型/B 型から一般就労へ移行するための具体的なイメージをもつことができる

(2) 当事者サポーター推進班

■検討テーマ

当事者を支えるサポーター（ピアカン※等）の活躍の場の設定

※ピアカンとは…ピアカウンセリングを省略したもの。ピアカウンセリングとは、1970年代初めアメリカで始まった自立生活運動の中でスタートした。しょうがいをもつ当事者自身が自己決定権や自己選択権を育てあい、支え合って、隔離することなく、平等に社会参加していくことを目指す。ピア・カウンセリングとは、自立生活運動における仲間（ピア）への基本姿勢のようなもので、お互いに平等な立場で話を聞き合い、きめ細かなサポートによって、地域での自立生活を実現する手助けをすること（全国自立生活センター協議会ホームページより抜粋）

■参画事業所等

座長：宮部久美（長浜市しょうがい福祉課）副座長：饗庭大聖（米原市しょうがい福祉課）

参画：（CIL だんない/湖北相談処すだち/しょうがい者相談支援センターほたる/相談支援事業所ピットイン/ふくらの森/マルチスイッチ/湖北基幹相談支援センターふらっと/米原市しょうがい福祉課/長浜市しょうがい福祉課）

■活動実績（定例会議）

回	日時	場所	参加数 (人)
第1回	4月24日 13:30~14:50	長浜まちづくりセンター1C会議室	11
第2回	5月22日 13:30~14:45	長浜まちづくりセンター1C会議室	9
第3回	6月26日 13:30~14:30	長浜まちづくりセンター1C会議室	5
第4回	7月24日 13:30~14:30	長浜まちづくりセンター1C会議室	8
第5回	8月23日 13:30~15:00	長浜まちづくりセンター1C会議室	9

■主な協議・活動内容

- ・ピアカンの視点（本人の自己決定、意思表示、傾聴等）を大事にした体験型研修会の企画
- ・事業所内でピアカンの活動を広めていくための具体的な取り組みについて検討。まずは既存の事業所内自治会と協力・連携し、どのような取り組みができるかを検討

■目標

- ・ピアカンが大事にしている視点や関わり方について、体験型研修会を通じて支援者が気づく、考える機会とする
- ・既存の事業所内自治会と協力しながらピアカン活動の場について検討する

(3) 地域移行推進班

■検討テーマ

- ・しょうがい当事者の地域移行の壁となる金銭面の課題に対する施策等の検討
- ・個別ケースを通じて、圏域として地域移行を推進する取り組み

■参画事業所等

座長：笠松賢一（あそしあ）

参画：(CILだんない/相談支援事業所ピットイン/障害者支援センターそら/湖北タウンホーム/湖北健康福祉事務所/滋賀県地域定着支援センター/セフィロト病院/湖北基幹相談支援センターふらっと/長浜市しょうがい福祉課)

■活動実績（定例会議）

回	日時	場所	参加数 (人)
第1回	5月21日 13:30~15:00	南郷里まちづくりセンター会議室A	10
第2回	7月16日 13:30~15:00	南郷里まちづくりセンター会議室A	9

■主な協議・活動内容

- ・地域移行に必要な金銭的な課題（住宅、雇用、補助金）について、他地域の先進的な取り組み等情報収集を行い、湖北圏域の状況に応じた対応策について検討

■目標

- ・地域移行に必要な金銭的な課題について一定のとりまとめを行う
- ・モデルケースを通じて具体的に地域移行を検討する

2 ライフステージ専門性部会

■目的

部会のテーマ【人・制度づくり】を実現するために、「学齢期班」「専門的人材班」「成人高齢班」の3つの作業班それぞれの切り口から協議をおこない、作業班の活動状況の共有と協議事項の整理などをおこなう。

■参画事業所

部会長：川寄誠一（湖北相談処すだち）

世話役：鍵弥寿彦（相談支援事業所ピットイン/障害児者地域生活ネットワーク支援事業）

参画：（学齢期班/専門的人材班/成人高齢班のメンバー）

■活動予定

回	日時	場所	参加数 (人)
第1回	11月18日 10:00~12:00	長浜まちづくりセンター多目的ホール	—

(1) 学齢期班

■検討テーマ

こどものアドボカシーの視点を中心にしながら、下記のテーマを検討

- ・乳幼児期から学齢期の関係機関の主導役、サービス調整における課題について
- ・家族支援（子育て支援、ペアレントメンター）
- ・進路場面での合理的配慮について

■参画事業所等

座長：川寄誠一（湖北相談処すだち）

参画：（湖北地域障害者生活支援センター「あ〜と」/フォーラムまこと/CIL だんない/長浜市教育センター/長浜市発達支援室/米原市発達支援センター/長浜市相談支援事業所/こども療育センターいちご園/米原市児童発達支援センターてらす/ふくしあ/スポーツひろばアクト NEXT/あっぷでーと/湖北基幹相談支援センターふらっと/長浜市しょうがい福祉課/相談支援事業所ピットイン/滋賀県発達障害者支援センター/長浜市議会議員）

■活動実績（定例会議）

回	日時	場所	参加数 (人)
第1回	4月30日 10:00~11:45	長浜市民交流センター	17

第2回	6月24日 10:00~11:30	長浜まちづくりセンター1B 会議室	13
第3回	9月 4日 10:00~11:30	長浜まちづくりセンター1C 会議室	14

※すべての会議の開催前にコアメンバーで運営会議を実施

■主な協議・活動内容

- ・ライフステージ毎に関係機関の役割や関わりを深掘りしていく。特に乳幼児期から学齢期にかけては支援機関が多岐に渡るため、どのタイミングでどの支援機関がどういった関わりをしているのか、市によっても異なるため、両市の担当課からそれぞれの取組みの説明を受け把握する。
- ・保護者にわかりやすく視覚化したものが必要ではないか⇒支援機関一覧表（案）を作成。

■目標

- ・乳幼児期から学齢期における両市の支援機関の役割や関わりについて把握する。

(2) 専門的人材班

■検討テーマ

検討テーマにより作業班を2グループに分けて協議・検討する

- ①専門的人材班セラピスト※グループ・・・「PT」「OT」「ST」等セラピスト同士の連携、障害福祉分野での専門職の視点の共有、事業所を越えた人材の活用の検討
- ②専門的人材班発達しょうがいグループ・・・圏域内の事業所の発達しょうがい支援の中心となる人材の育成と事業所を越えた専門的人材の活用について検討する。まずは、事業所の実態を把握するためのアンケートを実施

※セラピストとは…治療や療法を行う人のこと。療法士、治療士。PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語療法士)等。(出典：デジタル大辞泉)

■参画事業所等

座長：山下山貴（ライフまいばら）

参画：(湖北相談処すだち/ひだまり/いぶきやま/ひかり園/ふくしあ/県発達障害者支援センター/滋賀県立リハビリテーションセンター/湖北基幹相談支援センターふらっと/長浜市しょうがい福祉課/相談支援事業所ピットイン/長浜市発達支援室)

■活動実績（定例会議）

回	日時	場所	参加数 (人)
第1回	5月29日 10:30~12:00	北郷里まちづくりセンター会議室	12
第2回	7月23日 10:30~12:00	北郷里まちづくりセンター会議室	11

■主な協議・活動内容

2 グループに分かれて協議

- ①セラピストグループ…日頃から事業所の支援者等がリハビリの視点をもてるよう、また気軽にセラピストに相談できる圏域の体制づくりを目指し、まずはセラピストがどんな役割や機能を担っているかを知る機会として事業所向け研修会等の開催を検討。研修会を開催するにあたっての前段階として、セラピスト同士が互いを知らないことが考えられるため、地域のセラピスト中心メンバーで懇親会を開催し、横のつながりを構築する機会をつくる。
- ②発達グループ…発達しょうがいの方を支援する事業所の核となる人材、現場の職員を育成できる人材が圏域でどれくらいおられるか、事業所内でどんな取り組みをされているのかを把握するため、事業所向けにアンケート調査を実施予定。アンケート項目や内容を検討・決定し、今後調査を行っていく。

■目標

- ①セラピストグループ
 - ・湖北圏域のセラピストの懇親会の開催
 - ・セラピストの役割や機能を知ってもらうための事業所向け研修会の開催
- ②発達グループ
 - ・発達しょうがいの方を支援する事業所の核となる人材や事業所内での取り組みを把握するため、アンケート調査を実施。

(3) 成人高齢班

■検討テーマ

- ・しょうがいのある方の高齢化における課題への取り組み

■参画事業所等

座長：氏原優（ほおずき作業所）/副座長：曾我英男（ふくらの森）

参画：（湖北相談処すだち/いぶきやま/ゆり/ひかり園・輝湖里/友愛・絆/湖北基幹相談支援センターふらっと/あそしあ/プラスP/障害者支援センターそら/長浜市しょうがい福祉課/相談支援事業所ピットイン）

■活動実績（定例会議）

回	日時	場所	参加数 (人)
第1回	5月10日 10:30~12:00	長浜まちづくりセンターIC会議室	11
第2回	7月12日 10:30~12:00	長浜まちづくりセンターIC会議室	9

※すべての会議の開催前にコアメンバーで運営会議を実施

■主な協議・活動内容

- ・圏域の事業所における高齢化の実態調査（アンケート）を実施し、その結果からみえてくる圏域

の課題について協議・検討を行う。

- ・まずは実態調査の質問項目や内容を検討し、調査に向けての準備をすすめる。

■目標

- ・事業所における高齢化の実態調査を実施し、その結果からみえてくる圏域の課題を把握し、課題を解決するための研修会などを行う

3 社会資源環境部会

■目的

部会のテーマ【まちづくり】を実現するために、「住む」「暮らす」なかで不安を抱える人たちが安心して生活できるように地域啓発や地域とともに活動する。そのためにも「権利擁護虐待防止班」「重介護医療ケア検討班」「あるべき姿検討班」の3つの作業班それぞれの切り口から協議をおこない、作業班の活動状況の共有と協議事項の整理などをおこなう。

■参画事業所

部会長：河井孝典（重症心身障害者通所施設えがお）

世話役：鍵弥寿彦（相談支援事業所ピットイン/障害児者地域生活ネットワーク支援事業）

参画：（権利擁護虐待防止班/重介護医療ケア検討班/あるべき姿検討班のメンバー）

(1) 権利擁護・虐待防止班

■検討テーマ

- ①タウンウォッチを通じて誰もが暮らしやすいまちづくりについて考えるきっかけをつくる。また、圏域のバリアフリーの現状について把握する中で、新たな気づきや発見をする機会とする
- ②虐待防止研修を開催し、虐待についての正しい知識の普及・啓発を行う
- ③湖北圏域独自の自己チェックシートを通じて、風通しの良い職場風土を作り、虐待予防につながる取組みとしていく

■参画事業所等

座長：鍵弥寿彦（相談支援事業所ピットイン）

参画：（ひかり園・輝湖里/ひかり福祉会 GH/マルチスイッチ/えがお/湖北基幹相談支援センターふらっと/あそしあ/湖北地域障害者生活支援センター「あ〜と」/CIL だんない/長浜市民生委員児童員協議会/米原市権利擁護センター/長浜市権利擁護センター/大空ひだまり/長浜市しょうがい福祉課/米原市障がい福祉課/長浜市議会議員）

■活動実績（定例会議）

回	日時	場所	参加数 (人)
第1回	4月25日 13:30~15:15	長浜まちづくりセンター1B会議室	13

第2回	5月23日 13:30~15:00	長浜まちづくりセンター1C会議室	13
第3回	6月27日 13:30~15:00	長浜まちづくりセンター1C会議室	12
第4回	7月25日 13:30~15:00	南郷里まちづくりセンター会議室A	10
第5回	8月29日 13:30~15:00	南郷里まちづくりセンター会議室A	12

■活動実績（定例会議以外の活動）

タウンウォッチ

長浜駅周辺の重点区域を中心に、飲食店を中心に訪問し県の取り組み（県共生社会サポーターステッカー※）の啓発協力や国スポ・障スポに向けての意識啓発を通じて、地域の現状を把握

班	日時	調査エリア	参加者（人）
1班	5月22日 10:00~12:00	長浜城周辺	3
2班	5月20日 10:00~12:00	長浜駅周辺	5
3・4班	5月17日 10:00~12:00	駅前通り南側および黒壁スクエア周辺	5

※滋賀県共生社会サポーターステッカーとは…滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例第4条第2項に基づき、共生条例の理念等更なる普及等を図り、障害者への合理的配慮の提供を促進するため、共生条例の理念等に共感する者が、共生社会サポーターとして、当該理念等に沿って積極的に取り組んでいく意思を対外的に表明するもの。

■主な協議・活動内容

- ①タウンウォッチ…長浜市重点エリアにおいてタウンウォッチを実施。実施後の振り返りにて、気づいたことや課題に思われることを共有。第2弾は米原市重点エリア等を対象に実施予定。
- ②虐待防止研修…事業所を対象に虐待の正しい知識や地域共生社会のまちづくりの理解を深めることを目的に基幹相談支援センターと共催で開催予定。講師選定や当日の流れ等について協議。
- ③湖北版自己チェックシートの作成…様式を作成するだけでなく、その使い方をパッケージ化（自己チェックの実施⇒チェックシートをもとにしたワークショップや研修会の開催等）し、フォローを行っていく内容で検討。

■目標

- ①タウンウォッチ…長浜市および米原市の重点エリアにおいてタウンウォッチの実施
- ②虐待防止研修…虐待防止研修の開催を通じて、圏域で必要な周知・啓発について検討
- ③湖北版自己チェックシートの作成…湖北版の様式作成を目指し、協議・検討していく

(2) 重介護医療ケア検討班

■検討テーマ

- ①圏域の医療的ケアまたは重症心身障害児の実態調査を行い、そこからどんな社会資源が足りないのか等地域課題を把握する。
- ②家族や支援者にとって食事内容や嚥下の悩みは大きいと思われ、栄養学の視点から考える研修を検討。
- ③防災対策としての現地調査を実施。

- ④医療的ケアが必要な人が福祉サービスを利用する際に必要な医療からの指示書の様式を湖北圏域で統一に向けた協議・検討。

■参画事業所等

座長：近藤真美（重症児者相談支援センターてくてく）

参画：（えがお/かけはし/湖北基幹相談支援センターふらっと/CILだんない/滋賀県重症心身障害児者・医療的ケア児等支援センターこあゆ/ふくしあ/障がい者相談支援センターほたる/長浜市しょうがい福祉課/米原市障がい福祉課/大空ひだまり/長浜赤十字病院/湖北健康福祉事務所/ぶらす P/市立長浜病院/長浜養護学校/当事者ご家族/浅井東診療所/相談支援事業所ピットイン）

■活動実績（定例会議）

回	日時	場所	参加数 (人)
第1回	4月18日 13:30~15:00	神照まちづくりセンター会議室A	18
第2回	5月16日 13:30~15:00	長浜まちづくりセンターIC会議室	18
第3回	7月18日 13:30~15:00	神照まちづくりセンター会議室A	22
第4回※	8月22日 13:00~14:30	神照まちづくりセンター会議室A	17

※あるべき姿検討班と合同で研修会を開催。

テーマ：「社会調査における基本的な視点」 講師：金城学院大学 橋川 健祐氏

■活動実績（定例会議以外の活動）

実態調査

湖北圏域における医療的ケア・重症心身障害児の本人・保護者がどのような生活を送っておられるか等現状や課題を把握するため実施。

対象：学齢期の医療的ケア・重症心身障害児の保護者

調査方法：調査票に基づく聞き取り調査

回	日時	場所	保護者 (人)	参加数 (人)
第1回	6月20日 13:30~14:30	長浜養護学校	6	14

■協議・活動内容

- ・実態調査に向け、調査項目や内容、調査方法等について協議。養護学校生徒の保護者に調査を行った。
- ・調査にあたっての基本的な視点を学ぶため、あるべき姿検討班と合同で勉強会に参加。

■目標

- ・今後、地域の医療的ケア・重症心身障害児者に対して、ライフステージ別にアンケート調査を実施する。

- ・引き続き地域の防災対策として現地調査を実施していく
- ・分野毎に研修会を開催し、人同士のつながりを作っていく

(3) あるべき姿検討班

■検討テーマ

- ・湖北地域において必要なサービスを必要な時に安心して受け続けていけるために、「今考えておくべき事とこれから取り組むこと」の検討

■参画事業所等

座長：山瀬道範（ひかり園・輝湖里）

参画：（えがお/ひだまり/ライフまいばら/長浜市しょうがい福祉課/米原市障がい福祉課/相談支援事業所ピットイン/湖北基幹相談支援センターふらっと）

オブザーバー：橋川健祐（金城学院大学）

■活動実績（定例会議）

回	日時	場所	参加数 (人)
第1回	7月4日 14:00～15:40	長浜まちづくりセンター1C会議室	8
第2回	8月22日 13:00～14:30	神照まちづくりセンター会議室A	7

■活動実績（定例会議以外の活動）

- ・上記第2回の会議は勉強会を実施。

テーマ：「社会調査における基本的な視点」講師：金城学院大学 橋川 健祐氏

■協議・活動内容

- ・職員不足が顕著となってきている

今後、福祉従事者が増加するかどうかは、現状見通せないところである。

- ・サービス量が一定安定している事業もあれば、そもそも報酬単価が低いため、事業者参入が少なくサービス量が十分確保できない事業もある。需要と供給のバランスを考える必要性や、現状の職員規模の中で、湖北圏域の障害福祉サービスを「必要な時にサービスを受ける」に持続していくためにも職員実態調査を実施する。
- ・どのようなことを明らかにするため、職員実態調査を行うのか。そのためにどのような設問項目、選択肢があるとよいのかを持ちながら調査を行う。

■目標

- ・実態調査に向け、調査項目等を検討し、決定する。来年1月頃に調査を実施し、年度内に取りまとめる。